

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●M. デム一口騎手がJRA年間100勝を達成

8月4日(土)の2回新潟3日・第8レースとして行われたダリア賞ではアウィルアウェイが1着となり、同馬に騎乗したミルコ・デム一口騎手(栗東・フリー)は、クリストフ・ルメール騎手に次いで本年2人目、自身4年連続4回目となるJRA年間100勝を達成しました。

●B. アヴドゥラ騎手がJRA初勝利をあげる

8月4日(土)の2回小倉3日・第11レースとして行われた九州スポーツ杯ではエントリーチケットが1着となり、同馬に騎乗したブレントン・アヴドゥラ騎手(オーストラリア)は、JRA初勝利(7戦目)をあげました。

●ラインミーティアが死亡

2017年アイビスサマーダッシュ(GⅢ)の勝ち馬ラインミーティア(牡8歳/美浦・水野貴広厩舎)は、蹄葉炎により経過観察中でしたが、8月2日(木)に容態が急変したため安楽死の処置がとられました。JRA通算成績は42戦5勝でした。

●小倉競馬場の入場人員レコード更新

8月5日(日)の2回小倉4日は、入場人員が4万196名(うち女性1万2944名)となりました。これは1997年の1回小倉8日に記録された3万6745名を抜き、小倉競馬場の入場人員レコードとなります。

●ジョッキーベイビーズの北海道地区と関東地区代表が決定

7月29日(日)、JRA日高育成牧場で全国ポニー競馬選手権「第10回ジョッキーベイビーズ」の北海道地区代表決定戦が実施され、藤原結美さん(小学6年生・浦河ポニー乗馬スポーツ少年団)が地区代表に選出されました。また8月2日(木)にはJRA競馬学校で関東地区代表決定戦が実施され、神馬壮琉くん(小学6年生・府中乗馬スポーツ少年団)が地区代表に選出されました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ひまわり賞はJRA出身のサンタガール【各地の主要3歳重賞】

岩手のオークスに相当するひまわり賞(8月5日、盛岡、2000^円、牝馬)は、6番手から追い上げた5番人気のサンタガール(父キンシヤサノキセキ)が、ゴール寸前にハナ差で差し切っています。

●8月14日のサマーチャンピオン(佐賀)にブルミラコロらが出走

サマーチャンピオン(JpnⅢ、8月14日、佐賀、1400^円)は、JRA所属馬はブルミラコロ、ヨシオ、ルグランフリソン、タイセイエクレー、タイセイブライドという序列になりますが、エイシンヴァラー(兵庫)、エイシンスバルタン(兵庫)ら地方勢にも上位進出の可能性がありそうです。

●JRA勢に挑むラブバレット、8月15日のクラスターC

クラスターC(JpnⅢ、8月15日、盛岡、1200^円)は、悲願のダートグレード競走制覇を目指すラブバレット(岩手)に8か月ぶりの出走となるディオスコリダー、ネロが立ちはだかり、オウケンビリーヴ、ブライトライン、コパノマイケルまでが争覇圏内と考えられます。

●クイーンマンボらが参戦、8月16日のブリーダーズゴールドC

ブリーダーズゴールドC(JpnⅢ、8月16日、門別、2000^円)は、クイーンマンボが中心、以下フォンターナリー、ラビットラン、プリンシアコメータ、ハービンマオの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2017/18年の豪州競馬～スニツェルが2年連続の首位種牡馬

2017/18年の豪州競馬が7月31日で閉幕。チャンピオンサイヤーにはスニツェル(16歳、父リダウツチョイス)が2シーズン連続で輝きました。芝の世界最高賞金(総賞金1000万豪^{ドル}≒約8億7000万円/1豪^{ドル}87円で換算)であるジ・エベレストを制したレッドゼル、2歳戦としては世界最高賞金(総賞金350万豪^{ドル}≒約2億6300万円/1豪^{ドル}87円で換算)のG1ゴールデンスリッパースに勝ったエステイジャープなどが活躍。2歳部門でも2シーズン連続の首位となりました。なお、スニツェルは日本でも2007年と11年に種牡馬供用されています。

●G1モーリスドゲスト賞～ポリードリームがG1初制覇

8月5日にフランスのドーヴィル競馬場で行われたG1モーリスドゲスト賞(芝1300^{メートル})は、中団でレースを進めた地元のポリードリーム(牝3歳、父オアシスドリーム)がイギリス調教の3歳馬ジェームズガーフィールドをゴール前で捉えて優勝。前走のG3パレロワイヤル賞(芝1400^{メートル})に続く重賞連勝でG1初制覇を果たしました。管理するF.ヘッド調教師はマルシャンドールで2006～08年、ムーンライトクラウドで2011～13年のこのレースを制しており、これで自身の持つ最多勝記録を7にまで伸ばしました。

●G1ジャックルマロワ賞～ジェニアルは出走取りやめも発売は実施

8月12日にフランスのドーヴィル競馬場で行われるG1ジャックルマロワ賞に出走を予定していたジェニアル(栗東・松永幹夫厩舎)は、8月4日、現地の調教場で放馬した際に外傷を負ったため、同レースへの出走を取りやめました。なお、G1ジャックルマロワ賞の勝馬投票券の発売は、予定通り実施しています。